

第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会のご案内
— Family centered care のこれから —
(第 2 報)

第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会
会長 中村 友彦
(長野県立こども病院)

このたび、2024 年 11 月 8 日（金）～10 日（日）に第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会を長野県松本市のホテルブエナビスタ、アルピコプラザホテルで開催させていただくこととなりました。メインテーマは、「Family centered care のこれから」としました。私は Family centered care を「家族と一緒に築く医療」と訳しています。入院中から退院後まで家族と一緒にどう医療を築いていくのか、Family centered care の先進国であるフィンランド・トゥルク大学から Liisa Lehtonen 教授はじめ、心理士、看護師をお招きして、特別講演、シンポジウム等を企画し、さらに「Family centered care」に関連して 7 つの教育講演を企画しました。

日本新生児看護学会との Family centered care の合同シンポジウムに加えて、NAVA の開発者の一人であるカナダ・トロント大学の Jennifer Beck 教授とフィンランド・トゥルク大学 Hanna Soukka 教授と韓国 Inha 大学 Juyoung Lee 教授に参加していただいて「NAVA 国際シンポジウム」、信州大学古庄知己教授、米国ユタ大学 John Carey 教授に参加していただいて「13 トリソミーと 18 トリソミー：よりそい支える医療を日本から！」を企画しています。最近のトピックスとして、「働き方改革」「災害対策」「看取りの医療」のシンポジウムも企画しました。

11 月 9 日には The 6th Japan-Taiwan-Korea Joint Congress on Neonatology も開催されます。日本での Joint Congress は 2019 年の鹿児島での開催に次いで 2 回目となります。今回は米国 Texas 大学の Matthew A. Rysavy 教授、スウェーデン Uppsala 大学の Johan Agren 教授に参加していただいて、3 か国の 22 ～ 23 週出生児の管理方法について討論します。

11 月 17 日の「世界早産児デー」に向けて学術集会会期中（11 月 7 日～10 日）に国宝松本城をライトアップしていただくことにしました。是非、夜の松本城もお楽しみください。皆様のご参加をお待ちしています。

令和 6 年 6 月吉日

記

1. 会 期：2024 年（令和 6 年）11 月 8 日（金）～10 日（日）
2. 会 場：ホテルブエナビスタ、アルピコプラザホテル
3. 参加費：1) 学術集会参加費
【事前登録】 会員：16,000 円、非会員：20,000 円
【当日以降】 会員：18,000 円、非会員：22,000 円
2) 医学部学生・初期研修医・若手新生児科医フェローシップ採用者*：無料
* 若手新生児科医フェローシップ採用者（演題の筆頭演者で、卒後 10 年以内の医師のうち予め申請が認められた者）
3) 看護師・助産師の方は「第 33 回日本新生児看護学会学術集会」での参加登録をお願いいたします。
4) 医師の方で第 33 回日本新生児看護学会学術集会に登録した場合、日本小児科学会の専門医単位を取得することはできません。

4. ホームページ：<https://gakkai-e.jp/jsnhd68/>

5. 一般演題登録期間：2024年5月9日（木）正午～6月16日（日）正午まで

登録先：第68回日本新生児成育医学会・学術集会ホームページ

6. プログラム

日本小児科学会専門医単位対象講習検討中。確定次第、学術集会ホームページでご案内いたします。

○会長特別企画

1. 会長講演

「めざせ Family centered care 総合医」

座長：高橋 尚人（東京大学医学部附属病院）

演者：中村 友彦（長野県立こども病院）

2. 特別教育講演

「Family centered care とは何か」

座長：中村 友彦（長野県立こども病院）

演者：小田 新（長野県立こども病院）

3. 海外招聘講演

「Close collaboration with parents training program」

座長：小田 新（長野県立こども病院）

演者：Liisa Lehtonen（Turku University, Finland）

○特別シンポジウム

1. 「13トリソミー，18トリソミーのある赤ちゃん和家人にどう向き合うか：

命を繋ぎ、そして寄り添い支えよう！」

座長：古庄 知己（信州大学）

福原 里恵（県立広島病院）

演者：John C. Carey（University of Utah Health, USA）

他

2. 「NAVA potential」

座長：小田 新（長野県立こども病院）

座長：Juyoung Lee（Korea University Anam Hospital, Korea）

演者：Jennifer Beck（University of Toronto, Canada）

他

3. 「渡部晋一先生 メモリアルシンポジウム」

座長：中村 友彦（長野県立こども病院）

演者：福原 里恵（県立広島病院）

他

○教育講演

「新生児医療における dysmorphology」

演者：清水 健司（静岡県立こども病院）

「医療機器の添付文書 その法的な重要度を考えよう」

演者：小林 武治（大研医器株式会社）

松井 晃（神奈川県立こども医療センター）

「周産期医療を受けた家族の想い—家族・医療従事者・家族の協働—」

演者：有光 威志（慶応大学）

「一度始めた人工呼吸管理はやめられないのか？」

演者：多田羅竜平（大阪市立総合医療センター）

「家族への発信」

演者：坂本 昌彦（佐久医療センター）

「The structure of Tracking Rare Incidence Syndromes (TRIS) database」

演者：Deborah Bruns（Southern Illinois Univ, USA）

○シンポジウム

「能登半島地震でできたこと、できなかったこと、やりたかったこと」

「無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症の対応を考える」

「多職種で考える重篤な疾患を持つ新生児における治療の中止と差し控え」

「CLD 児と家族のこれから」

「母乳育児のこれから」

○ワークショップ

「エキスパートから学ぶ学会プレゼンテーションの極意」

「周産期医療を受けた家族が求めている支援とピアサポート」

「新生児医療に適切な医薬品を届けるために私たちに何ができるのか」

「低中所得国の新生児医療のリアル—アジア・アフリカ編—」

「教育セミナー優秀ワークショップ」

○日本新生児成育医学会・日本新生児看護学会・新生児医療連絡会 合同シンポジウム

「より良い予後を目指した新生児医療におけるタスクシェア」

○日本新生児成育医学会・日本新生児看護学会 合同シンポジウム

「これからの日本の Family centered care を考える」

「どうしてる？ 在胎 22・23 週児の加湿・皮膚ケア・水分管理」

「多職種で考える重篤な疾患を持つ新生児における治療の中止と差し控え」

○学会賞受賞記念講演

学会論文賞受賞記念講演

学術奨励賞受賞記念講演

○留学報告

佐多フェローシップ キングスカレッジ・プログラム留学報告

○教育セミナー

○企業展示他

■第 68 回学術集会本体に関するお問合せ先■

第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会 運営事務局

〒 390-0814 長野県松本市本庄 1-2-1

TEL：0263-37-0777 FAX：0263-37-0666

ホテルブエナビスタ 営業部

E-mail：68jsnhd@gmail.com

■日本新生児成育医学会への入会に関して

日本新生児成育医学会のホームページ (<https://jsnhd.or.jp/regist/>) 上で学会事務局の「新規登録・入会手続き」をご覧ください、「登録画面」へお進みください。

■託児室について

学術集会期間中、お子さまを同伴する参加者のために、会場内に託児室を設置いたします。

費用、お申込みなど詳細は大会ホームページをご確認ください。

※今後の感染状況により託児室設置を見送らせていただく場合もございますので予めご了承ください。

■懇親会について

学術集会 2 日目の 11 月 9 日（土）18 時 30 分より、ホテルブエナビスタ第 2、3 会場にて開催

日本新生児看護学会、The 6th Japan-Taiwan-Korea Joint Congress on Neonatology と合同開催

第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会 演題募集要項

1. 一般演題募集要項

- 1) 発表者は共同演者も含めて全員会員に限ります。ただし筆頭演者が医学部学生（大学院生を除く）の場合は、責任者が会員であれば会員登録の必要はありません。
- 2) 演題の発表形式は口演発表のみといたします。
- 3) 応募要項
インターネットを利用したのオンラインによる演題応募に限定いたします。郵送による応募は受付けておりません。第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会ホームページ上で注意事項を確認の上、必要事項を入力して登録してください。会員番号など必須事項が未入力の場合は登録が完了できませんのでご注意ください。また、練習期間はございませんのでご注意ください。よろしくお願いいたします。

第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会ホームページ

<https://gakkai-e.jp/jsnhd68/>

応募期間：2024 年 5 月 9 日（木）正午～6 月 16 日（日）正午まで

- *抄録集作成スケジュールの都合がありますので、応募期間の延長はいたしません。ご注意ください。
- *申込者のネットワーク環境および技術的な問題が原因で演題の登録に不備をきたしましても事務局および UMIN では一切責任を負いません。

2. 演題申込み上のご注意

1) 入会申請中の場合

登録には会員番号の入力が必須ですので、あらかじめ共同演者全員の会員番号をご確認の上ご登録ください。会員番号は学会ホームページ (<https://jsnhd.or.jp/>) の会員専用サイト、もしくは学会事務局からの郵便物の宛名右下に記載されています。入会申請中の場合は仮会員番号として 99999 と入力してください。演題応募期間中に会員番号が取得できた場合、演題修正画面上で速やかに正式な会員番号を再入力してください。なお、入会の申請をされずに 99999 を入力されますと演題の採択や演者名の掲載が不可能になる場合があります。必ず申請手続き後に演題申込みをしてください。

〈問合せ先〉

日本新生児成育医学会事務局

TEL : 06-6398-5625 FAX : 06-6398-5617 E-mail : jsnhd@jsnhd.or.jp

〒 532-8588 大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル 16F (株)メディカ出版内

2) 連絡先責任者について

筆頭演者は同時に代表連絡先となり、E-mail アドレスを登録していただきます。

演題の採否などの連絡は全て E-mail で行います。筆頭演者の E-mail アドレスがない場合は確実に連絡が取れる共同演者の E-mail アドレスを登録してください。

E-mail アドレス誤登録によるメール不達が続いております。入力の際はご注意ください。

※ご登録いただくメールアドレスについて

連絡先メールアドレスに Gmail・Yahoo mail 等の Web メールを登録している場合、UMIN より配信されるメール（演題の受領通知、採択通知など）が届かない事例が多く発生しております。Web メールのご利用はお控えください。

3) 入力画面のアクセス法

第 68 回日本新生児成育医学会・学術集会ホームページ <https://gakkai-e.jp/jsnhd68/> から演題登録画面を選択し、入力画面へ進んでください。

4) 演題登録時の注意事項

- 1) 演題登録時に、登録した演題を確認・修正するためのパスワード（半角英数 6～8 文字）を入力してください。
- 2) 登録完了前の確認画面には、パスワードが掲載されています。プリントアウトまたはお書き留めいただき、忘れないようご注意ください。
- 3) 登録完了時には演題登録番号が発行されます。同時に登録完了の案内メールが自動配信されますので、この登録完了メールをもって演題受領のご連絡とさせていただきます。
- 4) 演題登録番号とパスワードにより、応募期間内に限り登録した内容（抄録本文、未入会の場合の仮会員番号、その他の入力欄・チェック欄等）の修正が何回でも可能です。
- 5) セキュリティの観点から演題登録番号とパスワードのお問合せにはお答えできませんのでご注意ください。
- 6) 学会事務局では一切原稿訂正の対応はできませんので、十分にご確認願います。
- 7) UMIN 事務局では直接会員からの問い合わせに回答することはできません。

5) 締め切りの厳守

締め切り日の正午を過ぎますとシステムが自動的に終了しますので、以降の登録・訂正・削除は一切できません。ネットワークやサーバーのトラブル時の連絡等の各種案内は全て大会ホームページ上で行います。

3. その他注意事項

- 1) 所属機関は15施設まで。
- 2) 演者・共同演者は15名まで。
- 3) 演題名は全角114文字まで。
- 4) 本文は全角792文字までですが、登録全体の総文字数（著者名・所属・演題名・抄録本文の合計）が1,082文字を超えると登録ができなくなります。
- 5) 【目的】【方法】などの見出しは、必ず【 】の“かっこ”を使用してください。
- 6) 特殊文字を使用する際には、使用方法をよく確認してください。
- 7) 写真、図表の登録はできません。
- 8) 筆頭演者の氏名、所属、演題名については英語での登録もお願いいたします。

4. 演題審査

- 1) 演題の採否は、プログラム委員会の審査を経て決定いたします。

〈審査基準〉

- 目的、方法、結果、結論などが明らかであるもの（症例報告を除く）。
- 新生児医学、医療への寄与の大きいもの。
- 倫理的に妥当であるもの。
- その他プログラム委員が定める事項。

- 2) 演題の採否はE-mailにて連絡させていただきます。

また、第68回学術集会ホームページ上にプログラムの詳細を発表いたしますのでご確認ください。

5. 利益相反に関する自己申告書の提出

演題登録時に演題登録画面からオンライン上でご申告ください。

原則として利益相反状態の有無は演題の採択には影響しません。

演題が採択された場合、利益相反状態の有無にかかわらず、発表演題の最初のページに明記することが必要です。